

第4回滋賀県総合教育会議(後半) 社会全体で子どもたちを育てる滋賀の教育を目指して

資料2-1

1. 会議の基本的な考え方

- ・「学ぶ力向上滋賀プラン」において目指す、子どもたちに夢と生きる力を育むことについて、第2回滋賀県総合教育会議では、学校で取り組むべき課題として「学年間の学びの接続・教科間連携および校種間の接続」を議論した。
- ・会議では、保幼小の接続・小中の接続・中高の接続といった学校園間の接続についての課題と、各教科の指導内容を横断的にとらえる教育課程編成上の課題について、改善に向けての方向性が示された。
- ・しかし、今年度の学力調査結果からは、学校の取組のみでは改善しきれない課題として、家庭での過ごし方（家庭での学習、生活習慣等）に改善が必要なことが明らかになった。
- ・さらに、学校での取組を推進するためには、教員が子どもたち一人ひとりと向き合う時間の確保が必要である。

- (1) 子どもたちの放課後や家での時間の使い方という視点で、学習や生活習慣の定着といった課題が残っている。
- (2) 学校現場で取り組む課題がある中で、一方、学校の取組だけではなく、家庭や地域を含めた社会全体で解決していく課題もある。

2. 会議構成

(1) 家庭での取組の重要性について(5分)

「家庭での学習や生活習慣等の状況について」

家庭学習の時間と正答率の相関関係や生活習慣等について

(2) 一人ひとりの子どもたちと向き合うために

①事務局説明(5分)

「働き方改革推進会議での主な意見」

学校を取り巻く環境が多様化、複雑化する中で、学校に求められる役割が拡大していることから、社会全体で子どもたちを育てていくために出された主な意見

②ゲストスピーカー

滋賀ダイハツ販売株式会社 取締役 平尾 香子 氏(5分)

社会全体で子どもたちを育てる必要性について

(3) 意見交換(60分)

・社会全体で子どもたちを育てるためには、どのような取組が必要か。